

信州大学医学部附属病院 消化器内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年08月07日

**「長野県での直接型抗ウイルス薬(DAA)治療における効果及び治療後の変化」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4131
研究課題名	長野県での直接型抗ウイルス薬(DAA)治療における効果及び治療後の変化
所属(診療科等)	消化器内科
研究責任者(職名)	杉浦 亜弓(大学院生)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年06月30日
研究の意義、目的	長野県内でDAA治療を行った症例のSVR率とそれに関わる因子や、治療後の発癌及び予後を明らかにすることを目的とした研究で、C型慢性肝炎の治療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2015年4月から2018年6月までに、C型慢性肝炎にて長野県内でDAA治療受けられた方を対象としています。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など。
他機関への試料・情報の提供方法	電子メール、データベースへの登録等により提供します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、各種検査値や各種診療記録を用いて、治療に関わる因子や、治療後の予後について検討します。
共同研究機関名	諏訪赤十字病院 小松 通治(消化器内科医師) 長野赤十字病院 柴田 壮一郎(消化器内科医師)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学第2内科 研究責任者:杉浦 亜弓
問い合わせ先	氏名(所属・職名):杉浦 亜弓(信州大学第2内科) 電話:0263-37-2634
研究課題名	長野県での直接型抗ウイルス薬(DAA)治療における効果及び治療後の変化

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。